YouTube
ひらけんちゃんねる
市政や地域の最新情報を動画配信

久喜市議会議員
新政久喜

平沢健一郎

市議会報告だより

第３７号　令和４年　３月号

住所　久喜市菖蒲町菖蒲１５０番地
電話　0480-85-0033
ＨＰ　http://www.hira-ken.jp
メール　info@hira-ken.jp

女子栄養大学と包括連携

久喜市特産品のブランド化に期待

令和３年12月に久喜市は、女子栄養大学と包括連携協定を結びました。この提携により、特産品のブランド化や食育推進が行われます。同大学は、食のスペシャリストの養成や「計量カップとスプーン」などの食事法を考案し多くの実績があります。

今回の連携で、①小・中学校での食育活動の推進②学校給食の献立作成③特産品のブランド化に向けた取組④クッキー甲子園の審査員⑤家庭料理技能検定の久喜市版の実施が進められます。

令和２年11月に、同大学の香川昭夫学長の講演を聴き、私が「久喜市の食育を進めるにはどうしたらいいか」と質問したご縁で、新政久喜との勉強会や市の食育担当５課との勉強会を行ってきました。

久喜市は、特産物のブランド化に取り組んでいますが、今まで担当課はこれを実現するための支援体制が脆弱でした。「何の武器も持たされず素手で戦ってこい」という状態だった担当課にとっては、同大学との包括連携協定によって支援体制を得るチャンスを頂きました。

食育の推進　久喜市版家庭料理技能検定

また、久喜市版家庭料理技能検定ですが、試験内容に地域独自の特産品や食文化、伝統行事が盛り込めるメリットがあり、小中学生には体系的に食育を学ぶ機会を提供し、広く市民も取り組めるなど久喜市の食育推進に大いに貢献します。

ただ、この包括連携協定を利用しないと名ばかりになってしまいます。今回の連携内容が実行できるよう、私は引き続き久喜市に求めていきます。

自治体独自の家庭料理検定（江東区）

住民票などの証明書コンビニ交付で百円値引

コンビニ交付　対応端末

３月からコンビニ交付による住民票などの各種証明書手数料が、窓口での手数料に比べて百円安くなります。

行政のデジタル化により業務の効率化を図ることが狙いです。特に、混雑しやすい市民窓口は、近年ＤＶ（ドメスティックバイオレンス）などの相談業務が増えており、限られた人員の中で相談業務に振り分けていきたいとの考えです。

コンビニ交付サービスの利用には、マイナンバーカードが必要です。証明書発行数の70％がコンビニ交付に移行できれば、単年度の収支は黒字になり、経済的メリットがあります。デジタル化に移行できない方のために、今まで通り窓口での発行も行います。行政のデジタル化により、マイナンバーカードの更なる利用が進められます。まだ、発行されていない方は、早めの取得をお勧めします。

所得制限撤廃を要望

子育て世帯への臨時特別給付金

私が所属する会派新政久喜では、子育て世帯への臨時特別給付金の所得制限撤廃を久喜市長に要望しました。

久喜市は、子育て世帯に対し、18歳以下一人当たり現金一〇万円一括給付とし、児童手当受給世帯には12月23日に給付しました。

しかし、同給付金には所得制限があり、父母等の所得の高い方の収入額が基準となるため、共働き世帯との世帯年収に差ができてしまうため、所得制限の撤廃を要望しました。２月定例会で所得制限撤廃の議案が上程されました。

新型コロナワクチン　３回目の接種が始まる

65歳以上の方の３回目のコロナワクチン接種が、１月17日から始まっています。

すでに２回接種された方は、65歳以上で９２・６％、12歳以上で８８・２％となっています。（１月14日現在）

先行して12月から医療従事者約５千名、介護施設や高齢者施設関係者約千２百名へ、３回目接種がおこなわれました。対象者には、順次接種券が送られます。